



【1】 一種研開催報告

2026年2月の一種研を2月19日(木)～20日(金)の2日間にわたって名古屋工業大学で開催しました(写真1)。今回は、一般講演7件、企業特集オーガナイズドセッション8件、IEEE AP-S Nagoya Chapter特別講演1件、アンテナの歴史委員会特別講演1件で、合計17件の講演がありました。

IEEE AP-S Nagoya Chapter特別講演では、名古屋工業大学の王 建青先生に「ボディエリア通信を支える伝搬機構・アンテナ広帯域化・EMC」と題して講演いただきました(写真2)。人体表面上での伝搬のメカニズムでは周波数と伝搬しやすさの関係について示され、人体埋め込み用アンテナと外部との通信ではアンテナの広帯域化の検討結果が紹介され、そして、ウェアラブルデバイスでのEMCの課題では、外部からの電磁界により筋電義手が誤動作する動画など非常に興味ある内容が盛りだくさんでした。

アンテナの歴史委員会の特別講演では、中部大学の常川光一先生に「スマホにアンテナがあった頃の話」と題して講演いただきました(写真3)。第一世代(アナログ)から第二世代(PDC)にかけての初期の携帯電話のアンテナ開発に関するお話を、当時の懐かしい動画とともに紹介いただきました。伸びるアンテナの開発についての裏話や失敗談などはとても参考になる内容でした。最後に「輝けるのは今だ。今やれることをしっかりやる。」というお言葉で締められました。

企業特集オーガナイズドセッションでは、8件の発表があり、各企業とも独自に取り組んでいる事業内容に関する発表が特徴的でした。

1日目の最後に、名古屋ビール園 浩養園にて懇親会を行いました(写真4)。食べ放題のバーベキューを楽しみながら懇親を深めることができました。

【2】 2026年度一種研開催計画の変更

昨年12月の2025年下期専門委員会で審議された2026年度のAP研第一種研究会の実施計画ですが、少し大きな変更がありましたので改めてご紹介します。今年度に引き続き、IEEE AP-SのMember and Geographic Activity(MGA)が来年度の9月に行われることになり、AP研の日程と開催地を調整した結果、下表の通りとなりました。変更部分は赤字で示していますのでご確認ください。昨年末に配布したアンテナの歴史委員会カレンダーについても予定の記載が古いので、お気を付けください。



写真1 一種研の会場
(名古屋工業大学 2号館)



写真2 IEEE AP-S Nagoya Chapter 特別講演
(名古屋工業大学 王先生)



写真3 アンテナの歴史 特別講演
(中部大学 常川先生)



写真4 懇親会の様子

第一種研究会 2026年度実施計画

開催日(仮)	開催場所	テーマ	併催	共催	備考
4/9, 10	大阪大学 中之島センター (関西)	一般, 電磁界シミュレーション		IEEE AP-S Kansai Joint Chapter URSI-B	電磁界シミュレーションオーガナイズドセッション
5/21, 22	長崎大学テクノロジーイノベーションキャンパス (九州)	一般		IEEE AP-S Fukuoka Chapter	
6/11	機械振興会館 (東京)	一般		IEEE AP-S Tokyo Chapter	専門委員会 顧問会
7/22, 23, 24	神戸 (関西)	一般, リモートセンシング, 衛星通信	SANE研, SAT研 (SAT研主幹事)	IEEE AP-S Kansai Joint Chapter	
8月	休会				
9/9, 10, 11	金沢 (北陸)	一般, 電波伝搬, マイクロ波・ミリ波	MW研 (AP研主幹事)	IEEE AP-S Japan Joint Chapter URSI-F	フレッシュドクター セッション 電波伝搬オーガ ナイズドセッション 9/11 MGA計画中
10/14, 15, 16	栃木 (東京)	一般, 学生		IEEE AP-S Tokyo Chapter	学生セッション
11/18, 19, 20	富山 (北陸)	一般, 無線通信	RCS研 (RCS研主幹事)	IEEE AP-S Nagoya Chapter	
12/10	機械振興会館 (東京)	一般		IEEE AP-S Tokyo Chapter	専門委員会 顧問会
1/20, 21, 22	大分 (九州)	一般, 電力伝送, 電波伝搬	WPT研 (WPT研主幹事)	IEEE AP-S Fukuoka Chapter URSI-F	電波伝搬オーガ ナイズドセッション
2/16, 17	徳島 (四国)	一般, 企業特集		IEEE AP-S Kansai Joint Chapter	企業特集オーガ ナイズドセッション
3/18, 19	山形 (東北)	一般		IEEE AP-S Tokyo Chapter	フレッシュドクター セッション

【3】副委員長の戯言

◆名工大の数字の謎

今回のAP研の会場となった名工大には何度か訪れているのですが、正門に2つの8桁の数字が書かれているのに初めて気づきました(写真5)。1日目の懇親会の際に菊間先生にお尋ねしたところ、「著名な人の生まれた日らしいですよ。」とのことでした。2日目に少し調べてみたところ、正門は大学創立90周年を記念して建てられたもので、正門と前庭の白い構造物に、合計4つの数字が書き込まれていることがわかりました。正門や白い建造物は円弧状に作られており、天体や原子の運動を象徴するものであり、その円弧上に書かれた数字は、有名な4人の物理学者の生きた時間を象徴しています(前4桁が生誕年, 後4桁が没年)。

- ・14521519: レオナルド・ダ・ビンチ
- ・15641642: ガリレオ・ガリレイ
- ・16421727: アイザック・ニュートン
- ・15961650: ルネ・デカルト

他にも、正門や前庭の円弧の焦点、正門左上にはめ込まれた金属の小円についても意味が込められているそうです。



写真5 名工大の数字

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 大島 一郎 (電気興業)

E-mail: ap_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET: A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP: <https://www.ieice.org/cs/ap/>

